

緑生瓦版

2007.09.01
第十号

北の大地で
暑い日に思うこと

今年には北海道でも暖冬の影響により、雪も少なく暖かい日が続いた。そのため生物の発生活も例年より早いのは！と思いつつお目当ての虫を探しに行くも、まだ出ていない。いつの間にかやら帳尻あって例年通りの発生：ナゾ？

調査対象となるような昆虫は、発生時期が限られている種が多く、いつ調査をすべきか、いつも悩みの種です。今年のような年が続くと、さらに厳しいですね。

北海道支所
伊藤 彰朗

緑生研究所って、どんな会社…？

～ 日々精進の巻 ～
「すげの会」全国大会に参加して

今回の会場は四国カルスト(高知県, 天狗高原)でした。夏はヒメユリが有名ですが、ここでは魅力的なスゲの仲間達を紹介します。



カヤツリグサ科スゲ属は世界に約2,000種、日本だけでも252種もあります。属内の種数が非常に多く、また互によく似た種が多いことで知られています。見分けるのが非常に困難な仲間ですが、工作上、避けて通ることはできません。日々行なっている技術力向上のための努力の一環として、今年も「すげの会」全国大会に参加しつつ、高知の植物をみてきました。(調査部 庄司顕則)

ワタリスゲ 林道わき斜面に群生していました。近い仲間はどれもよく似ており、いつも頭を悩ませる厄介な存在です。

ミヤマイワスゲ 乾いた岩場をよじ登って、ようやく観察できたスゲです。会には年配の方が多く、私が代表して登りました(登らされました)。

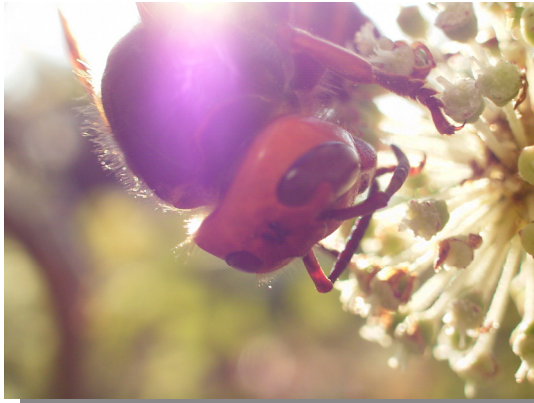
ミヤマジュズスゲ 流水辺などに生育していました。果胞(実を包むさや)の雰囲気可愛らしいと個人的には思いますが…。

ヒナスゲ 登山道わきに生育していた、雌雄別株のスゲです。左が雄、右が雌。小さくて可愛らしいです…。

フサスゲ 沿海地の草地や河原などに生えています。一度みたら忘れない、そんなところも魅力のひとつです(助かります)。

イワカンスゲ 車道わきの露岩に株となって生育していました。細いながらも力強さを感じます。

写真だよ



オオスズメバチ *Vespa mandarinia japonica*

世界中に分布するスズメバチのなかで最も大きな種類です。攻撃性が極めて強く、巣などに近づくと「カチカチ」と大あごを鳴らして威嚇してきます。野山に出かける時には、十分に注意しなければならぬ生き物のひとつです。

ゲンノショウコ *Geranium thunbergii*

昔から胃腸薬として使われている植物で、夏から秋に白色や赤紫色の可愛らしい花がみられます。果実が種子を放出した姿が御神輿（おみこし）に似ていることから、「ミコシグサ」の別名がついています。



アンケートのお願い！

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所(坪山)宛に FAX(042-487-4334)** をお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。

第十一号は、「ワン、ワン、ワン」で犬の日となる十一月一日の発行を予定しています。

特集では『アクセスにおける生態系の考え方』を取り上げます。

コラム



おしりかじり虫って知ってますか？

NHKの「みんなのうた」で人気の曲です。キャラクター、詩、曲どれもが不思議で楽しい歌です。解説によると、現代社会において元氣のない人々を瞬時に笑顔にするやんちゃな妖精だそうです。

人それぞれ元氣の源があるものです。あなたにとっての「おしりかじり虫」は何ですか？

